

# 品川支部

令和元年12月1日発行 **12月**  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel 3442-7075

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 第二十九回 女子青年大会が催された

11月3日「第29回女子青年大会」が本部中庭で開催されました。「広げよう信仰のよろこびを 友達さそっておちばへ帰ろう！」を大会テーマに、1万1400人の女子青年が集いました。

前日の2日夕づとめ後には東西泉水プール前広場とお茶所は「よろこびフェスティバル」が催され、沢山の女子青年の方の笑顔でいっぱいになりました。



第二十九回女子青年大会

### ☆支部行事のお知らせ

・支部例会十二月二十一日(二頁参照)

・神名流し

・一日大井町駅前にて

・在宅センターひのきしん

・十二月は有りません

・教区ひのきしん

・担当は本大崎組です今月は五日と

・大掃除九日の二回です宜しくお願い致します

・幹事会

・九日、都南分教会にて六時から

### ☆教務支庁からのお知らせ

・二月お運びの教会は

・一月お運びの教会は年末の為、教区視察が十五日の受付までになりますので願書の提出を早めにお願致します。

・災害隊関連

・台風十九号の大きな被害に際しまして皆さんからの救援募金を募集しています。天理教では道友社に口座を設け受付を行っています。三井住友銀行 奈良支店 「天理教災害救援募金」(普)一六六八五四八です、宜しくお願い致します。

・婦人会から

・今年も決起の集い、女子青年会大会等多くの行事にご協力いただきまして有難うございました。来年はいよいよ、婦人会創立百周年の年になります。来年もよろしくお願い致します。

・社友会から手配り者募集の案内

・東京教区内では、時報の部数が約五千五百部交付されており、手配りは三千五百部と三分の二程度がなされています。品川支部ではほぼ百パーセントの手配り率ですが、年令等で欠員が多くなつて参りました。是非数軒のご近所への手配りですので、参加頂ける方をお待ちしています。お近くの教会にお話しください。

・一口知識 来年のねずみ年

・日付や時刻・方位を表すのに記号として使われていました十二支は庶民が覚えやすいよう中国の秦(しん)の時代、紀元前二百年ごろ動物があてられたのだそうです。一番目は子の文字で、子供を表す文字ですから子が増えることからねずみを当てたとの事です。繁栄につながる事から十二支の初めとしてもふさわしいですね。支部繁栄の上にも来年も宜しくお願い致します。

時報手配り十二月予定

十二月は十五日が最終日となります。元旦号(一月十二日号)は一月九日発送です

拠点教会	1日号	8日号	15日号
日本橋	直送	手配り	手配り
本荏	手配り	手配り	手配り
南泰	手配り	手配り	手配り
三ツ木	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り

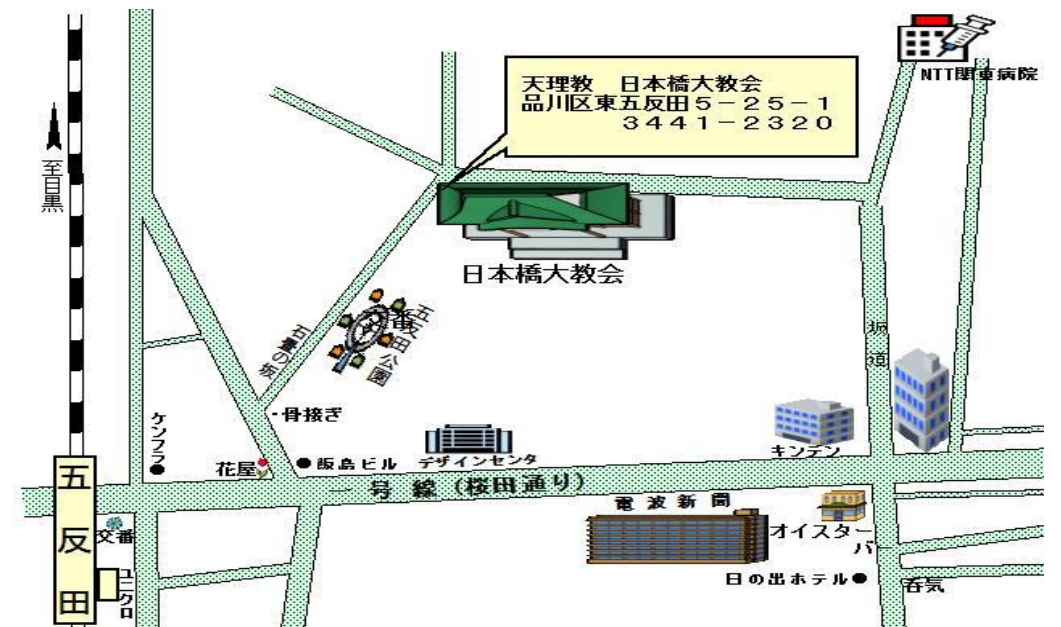
# 品川支部例会

## 令和元年12月21日 (土) 場所 日本橋大教会

(品川区東五反田5-25-1)

### 内容 座りづとめ よろづよ 十二下目 東京教区、支部連絡事項 当該 中臺大会長挨拶 昼食は忘年会を兼ねて用意頂いてます

#### \* 支部内教友の方対象 (白足袋ハッピー着用)



### 令和の年一年



櫻京分教会長 櫻井 謙二

皆様には師走という事で、せわしい事と存じます。今年一年、教会においても身上、事情と私事を含め三つほどの大きな節をお見せいただき印象に残る年でありました。私自身、年初にどのような通り方だと思いい、神様には何か一番お喜び頂けるのかを考えて、兎にも角にもまず身を上げて通ろうと考えました。何が起ころうともまず頭をしっかりと下げて行こう、これを第一としました。そして心はやさしき心に通れるよう、とにかくやさしく・やさしく・心は長く、短くならぬよう、ブドウの房の様に丸く・丸く繋げる、これを毎日忘れずに行くと心定めたのです。具体的には言葉では使い方を間違わぬよう、どの人にも使い分けせず、どの人にも神様に、大教会長様に話すような

つもりで、子供さんにも、年下の若い人にも丁寧な言葉遣いを忘れずにといい決めていました。そんな時、春、とある元気な六十前の布教所長さんが、一年ほど前から身体が随分と痩せてきて、取りあえず病院に行くよう勧めていたのですが、五月過ぎになってやっと行くと言頭ガンと判り、しかもステージ4のプラスという事で手術が決定しました。この家は神様に実にまじめで素直に通られていましたから、ここに至っては私の責任です。とにかく助かって頂けるよう手術までの一か月半をおさづけを取次に私が運ぼうと暑さも厳しくなってきましたが片道二時間弱ほどの道を毎日行かさせて頂きました。特布教所家族も真剣です。特に奥様は熱心ですから家族、子供たちにも必死に声を掛けて、毎月びっくりする程の理立てを運び、教会の皆さんにもお願いつとめを頼み、大教会も部内教会・布教所も一つになって八時間にわたる

手術に臨みました。結果、十月半ばには結構なご守護を頂くことが出来たのです。それぞれ家族を持つ子供たち四人も皆成人して親の為に力一杯につとめてくれたのは嬉しかったですね。「これは効きますよねー。」布教所長夫婦も子供達も皆嬉しそうに喜びの中、新しい年を迎えられそうであるに有難いことでした。と、ふと気が付いたんです。私一昨年の元旦祭の朝、おつとめに立ち上がったらひびきの骨が引かかって無理に伸ばすとガキ・ガキと隣の人にも聞こえるくらい音がして、とても痛かったんです。この先これはずっとの付き合いと諦めていたのですがそれがすっかり御守護頂いていたのです。二年近く痛められて来たのが、あれ、無い・痛くない、これは本当に有難い神様の贈り物を頂きました。布教所家族や教会でもこの事を伝え、本当に「人助けで、我が身助かる」事を改めて教えてくれたのがこの度の身上助けでした。

そしてもう一つは、先月一日、部内の台湾省高雄の熱心な信者で李明都さんご夫婦の長女の方の結婚が決まり、そのお祝いの式に思いもかけず大教会前会長様、大教会長様のお二人も参列して頂く事になったのです。李さんご夫婦はおちば帰りの都度、別席、おさづけ、修養科生と、二十年程大勢の信者を連れてきてくれました。会長様から尋ねられて調べると、その数は教徒になった方を含め百人を超えていました。又、今は隣地を買収され、小さかった神殿が新しく布教所に相応しい神殿になるべく普請が始まっています。

このような届かぬものに、多くの喜びを頂けた令和幕開けの年でありました。来年も皆様共々良い年であります様願っております。

